

平成23～27年度（上・下期）利用状況

		H23	H24	H25	H26	H27
利用者数 (人)	上期	13,054	12,366	11,819	10,903	10,659
	下期	12,424	12,009	11,503	10,740	10,352
	合計	25,478	24,375	23,322	21,643	21,011
1便あたり の利用者数 (人)	上期	7.6	6.3	6.0	5.6	5.4
	下期	7.3	6.2	5.9	5.6	5.3
	合計	7.5	6.2	6.0	5.6	5.4

利用者数

平成27年度は21,011人の方が利用し、前年度に比べ632人(約2.9%)減少しています。1便あたりの利用者数は5.4人で、前年度に比べ0.2人減少しています。

坂上線バス

運営状況

平成27年度に要した運行経費は約1,578万円で、前年度に比べ約35万円減少しています。また、運賃収入は約580万円で、前年度に比べ約34万円減少しています。収支率は約36.8%で、前年度に比べ約1.3ポイント低下しています。

平成23年度からの5年間の運営状況を見ると、運行経費は平成24年度からの増便や前飯谷地区を経由するルートの新設などにより、平成23年度に比べ約110万円(約7.5%)増加しています。

一方、運賃収入は減少傾向にあり、平成27年度は最も多かった平成24年度に比べ約96万円(約14.2%)減少しており、平成23年度からの5年間で最も少なくなっています。

運行経費は年度により増減があるものの、運賃収入が減少傾向にあるため、収支率は低下傾向にあります。

平成23～27年度（上・下期）運営状況

		H23	H24	H25	H26	H27
運行経費 (万円)	上期	736	789	907	787	753
	下期	732	818	819	825	825
	合計	1,468	1,607	1,726	1,612	1,578
運賃収入 (万円)	上期	348	383	360	357	328
	下期	306	293	271	257	252
	合計	653	676	631	614	580
収支率 (%)	上期	47.2	48.5	39.7	45.3	43.6
	下期	41.8	35.8	33.1	31.1	30.5
	合計	44.5	42.1	36.5	38.1	36.8

車内事故防止にご協力を

車内事故は、バスの事故の約3割を占めています。走行中のバス車内での事故を防止するため、7月1日から31日まで「車内事故防止キャンペーン」を実施します。

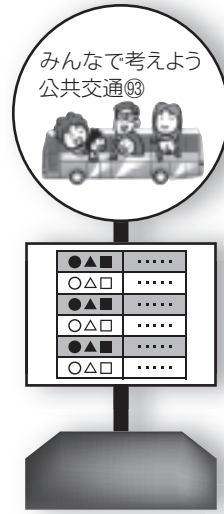
バスは安全運転に徹していますが、やむを得ず急ブレーキを掛ける場合があります。満席のため立って利用する場合は、吊皮や握り棒にしっかりとつかまりましょう。

大竹・栗谷線、坂上線バスともに運営状況は年々厳しくなってきました。

平成27年度には利便性向上のため、大竹・栗谷線バスの大竹駅バス停を改札口前に移動しました。また、坂上線バスは運行ダイヤを見直し、前飯谷地区にバス停を新設しました。

これからも、大竹・栗谷線、坂上線バスが長く走り続けていけるよう、皆さんと一緒に守り、育てていきたいと思っております。ルート沿線にお越しの際は、ぜひご利用ください。

※ ダイヤや運賃表は車内、自治振興課、各支所で配布しています。また、市ホームページにも掲載しています。



**大竹・栗谷線、坂上線バスを
利用してみませんか**

問い合わせ 大竹市地域公共交通活性化協議会（自治振興課内）☎2142

今回は、大竹・栗谷線、坂上線バスの平成27年度の
利用者数・運営状況をお知らせします。

大竹・栗谷線バス

利用者数

平成23～27年度（上・下期）利用状況

		H23	H24	H25	H26	H27
利用者数 (人)	上期	2,873	3,219	2,683	2,690	2,895
	下期	3,097	2,428	2,536	2,602	2,651
	合計	5,970	5,647	5,219	5,292	5,546
1便あたり の利用者数 (人)	上期	2.1	2.4	2.0	2.0	2.2
	下期	2.3	1.8	1.9	2.0	2.0
	合計	2.2	2.1	1.9	2.0	2.1

平成23年度からの5年間の推移を見ると、平成25年度までは減少傾向にありましたが、平成26年度からは増加傾向にあります。

平成27年度は5,546人の方が利用し、前年度に比べ254人(約4.8%)増加しています。また、1便あたりの利用者数は2.1人で、前年度に比べ0.1人増加しています。

運営状況

平成27年度に要した運行経費は約1,400万円で、前年度に比べ約68万円増加しています。また、運賃収入は約226万円で、前年度に比べ約21万円増加しています。

運行経費に対する運賃収入の割合(収支率)は約16.1%で、前年度に比べ約0.7ポイント改善しています。

過去5年間の運営状況を見ると、運行経費は燃料・油脂の高騰などのため、平成23年度に比べ約103万円(約7.9%)増加しています。一方、運賃収入は年度によって増減があるものの、ほぼ横ばいで推移しています。

運賃収入は同程度の水準を維持しているものの、運行経費が増加しているため、収支率は低下傾向にあります。

平成23～27年度（上・下期）運営状況

		H23	H24	H25	H26	H27
運行経費 (万円)	上期	660	644	625	652	694
	下期	637	619	650	680	706
	合計	1,297	1,263	1,275	1,332	1,400
運賃収入 (万円)	上期	106	129	111	101	125
	下期	116	97	102	104	101
	合計	222	226	213	205	226
収支率 (%)	上期	16.0	20.1	17.7	15.4	17.9
	下期	18.2	15.6	15.8	15.4	14.3
	合計	17.1	17.9	16.7	15.4	16.1